【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】平成25年10月31日(2013.10.31)

【公開番号】特開2011-126524(P2011-126524A)
【公開日】平成23年6月30日(2011.6.30)
【年通号数】公開・登録公報2011-026
【出願番号】特願2010-282079(P2010-282079)
【国際特許分類】
*Ｂ６０Ｊ　7/20　(2006.01)*
*Ｂ６２Ｄ　25/12　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｂ６０Ｊ　7/20
Ｂ６２Ｄ　25/12　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成25年9月17日(2013.9.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
車両、特に自動車のカバー（２）用の支承部（４）であって、
カバー（２）は、リンク機構（１６）と連結ロッド（１５）とを介して、開放位置と閉鎖位置との間を運動可能になっており、
支承部（４）は、車両の上部構造（２１）とカバー（２）の縁部との間に配置されており、支承部（４）は、カバー（２）を車両の上部構造（２１）と可動に結合しており、
支承部（４）は、少なくとも２つのリンク（３１，３２，３４）を備えており、
前記リンク（３１，３２，３４）の２つが、支承ブロック（２５）に旋回可能に支承されており、前記リンク（３１，３２，３４）と支承ブロック（２５）とが、四節リンク機構（８）を形成している、車両、特に自動車のカバー用の支承部において、
カバー（２）は、開放過程および閉鎖過程の間に支承部（４）を介して旋回運動および／または直線運動を行うようになっており、カバー（２）は、ホルダ（４０）によって、四節リンク機構（８）の上位端部に旋回可能に取り付けられていることを特徴とする、車両、特に自動車のカバー用の支承部。
【請求項２】
ホルダ（４０）は、開放位置および閉鎖位置で、ストッパ（５０）を介して、後方リンク（３４）と作用結合し、位置固定される、請求項１記載の支承部。
【請求項３】
カバー（２）の閉鎖位置で、ストッパ（５０）の湾曲した載設面（５１）が、後方リンク（３４）の、該載設面（５１）に対応する収容面（５２）に載設される、請求項１または２記載の支承部。
【請求項４】
カバー（２）の開放位置で、湾曲した載設面（５１）は、少なくとも部分的に、角度付けされた後方リンク（３４）の、ホルダ（４０）に向いた側の端部部分に載設される、請求項１から３までのいずれか１項記載の支承部。
【請求項５】
ストッパ（５０）、ホルダ（４０）および前方リンク（３２）は、まとめて、支承部Ｉ

（６２）のピンと旋回可能に結合されている、請求項１から４までのいずれか１項記載の支承部。
【請求項６】
ホルダ（４０）は、四節リンク機構（８）と旋回可能に結合されており、ホルダ（４０）は、走行方向（１）に延びるフランジ（４２）として形成されており、フランジ（４２）の、上向きのフランジ面（４１）に、カバー（２）が取り付けられる、請求項１から５までのいずれか１項記載の支承部。
【請求項７】
前記リンク（３１，３２，３４）および支承ブロック（２５）は、金属薄板を打ち抜いて形成された、略Ｕ字形に曲げられた構成部材である、請求項１記載の支承部。
【請求項８】
金属薄板から成るＵ字形に曲げられた前記リンク（３１，３２，３４）は、少なくとも部分的に相互に係合するように配置されており、該リンク（３１，３２，３４）は、少なくともカバー（２）の閉鎖位置で、支承ブロック（２５）のＵ字形の収容部の内側で、相互に係合するように位置決めされている、請求項７記載の支承部。
【請求項９】
カバー（２）の閉鎖位置で、支承ブロック（２５）および主リンク（３１）は、相互に整合する調節孔（３０）を備えている、請求項１記載の支承部。
【請求項１０】
支承ブロック（２５）および主リンク（３１）の調節孔（３０）に、ロックピンが挿入されるようになっている、請求項９項記載の支承部。